

腫瘍内科に通院中の患者さんへ（臨床研究に関する情報）

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。このような研究は、厚生労働省の「臨床研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] マグネシウムの経静脈前投与によるシスプラチン起因性腎障害の予防効果の検討

[研究機関] 北海道大学病院 薬剤部

[研究責任者] 井関 健（北海道大学大学院薬学研究院教授／北海道大学病院薬剤部長）

[研究の目的]

シスプラチンは幅広いがんに効果がある薬ですが、腎臓に障害を与えやすいことが知られています。現在は治療前日より水分の点滴または飲水などの水分の摂取により尿の量を増加させることで腎臓の障害の予防を行っていますが、その予防効果は十分ではありません。この研究では、マグネシウム製剤をシスプラチンの投与前に投与することによりどの程度腎臓の障害を予防できるのかを、すでに記録されている診療情報を用いて分析し、今後、シスプラチンを使用する患者さんの負担を軽減することを目的としています。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

頭頸部がんの患者さんで、平成 22 年 3 月 1 日から平成 28 年 12 月 31 日の間に腫瘍内科に入院し DCF 療法(シスプラチン、ドセタキセル、フルオロウラシル)を用いた治療を受けた 20 歳以上の方。

●利用するカルテ情報

診断名、年齢、性別、検査値（血液検査）、入院中の治療内容、腎機能障害の出現状況、食事の摂取状況、治療スケジュール、入院日数、処方内容、処置内容、疾患の治療歴など

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

[問い合わせ先]

北海道札幌市北 14 条西 5 丁目
北海道大学病院薬剤部 担当 齋藤 佳敬
電話 011-706-7722 FAX 011-706-7616